

令和2年度
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	B	教育目標の理解については、年々定着しています。特に、挨拶に関する指導は日々行われ、一定の成果が確認できます。一人一人の特徴を尊重し、基本的な生活習慣に対する指導も適正に実施されています。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	3			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	C	C	前例踏襲主義的な計画が見られます。過去の計画と現状及び保護者ニーズを考慮した教育内容を精査するよう期待します。コロナ禍による行事の縮小や休園による教育活動不足が与える教育効果を心配する評価があり、今後の計画に配慮が必要だと考えます。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	2			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	2	C	C	コロナウイルス感染防止対策の休園による教育日数の減少及び、行事の縮小により、体験教育の機会が不足することで、到達度が問題となります。緊急事態時の教育活動対策を考えた工夫が必要です。準備についても十分行うよう期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	2			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	2			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	B	A	コロナウイルス感染防止対策をはじめ、基本的な生活習慣上必要な指導は十分実施され、特にインフルエンザ感染報告が極めて少なく、安全な施設運営が行われています。また、コロナ禍を意識し、登降園時の視診の徹底を行いました。日常の安全対策についても、対策マニュアルを確認し強化したい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	3			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	2			
自らも体調管理には十分注意している。	3			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	4	B	B	一人一人の個性を尊重し重視した係りにより、担任教諭との信頼関係構築に努める姿勢が見られます。教師としての日々の姿勢が与える教育効果についても意識し、一層の品格向上願います。安定した楽しいクラス運営を求めます。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	3			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	2			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	C	本年度の研修参加は、コロナウイルス感染防止の観点から極めて少ない状況でした。この為、達成感に乏しい評価があります。今一度、個人の希望する研究テーマを精査し、今後の研修参加に備えたいと考えます。また、園内研修を充実したいと考えます。
研修に参加するのは楽しい。	2			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	C	C	保護者とのかかわりについて、コロナ禍の影響により、行事等による関りは減少したが、日々の対応による係りを強化することで大きな問題は発生しておりません。希望による相談対応は必要に応じ実施し、コミュニケーション強化に努めます。更に積極的な関係構築に努める努力を行いたい。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	新人教諭が少なく、限られた人員での教育活動が行われています。この為、職務が単調になりマンネリ化が危惧されます。職務を見直し現状に対応した新たな職務遂行体制を整えることで、当園の良さを強調したいと考えます。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	4			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

令和3年3月29日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月15日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 町 淳子

